

1 総 括

1-1 業務の概要

近年の技術革新の進展や著しい技術の先端化に伴い、公設試験研究機関においては研究開発、技術支援の高度化がますます強く要請されている。このため、地域産業の「技術的拠りどころ」としての機能を果たしていくためには、生産・加工システム、地域資源の高度利用、新素材・新材料、バイオ・食品、環境・生活・デザイン及び電子・情報などの研究開発が不可欠であり、これらの研究開発を推進することによって、技術水準の高度化を促進し、地域資源や開発した技術の活用による新製品・新商品の開発を行い、新たな産業興しを図る必要がある。

業務の概要としては、県内中小企業を主対象とする技術相談・支援業務、依頼分析・試験業務及び工業技術に資する研究開発業務を主要業務とするほか、J D r e a m II, P A T O L I S など技術情報データベースのオンライン検索による情報提供、メール配信サービス「K I T - e n e w s」等地域企業への情報提供業務を行うとともに、インターネットのホームページを活用して積極的に情報発信を行っている。また、産学官が自由に設備を利用できる開放型の支援施設「R & D 支援センター」や、「システム技術開発センター」などの利用を通して、地域企業の独創的な技術開発や成長分野への展開を円滑に推進している。

1-2 組織と業務

庶 務 部

- (1) 庶務一般に関すること。
- (2) 他部の所管に属しないこと。

企画情報部

- (1) 試験研究及び技術指導の企画及び総合調整に関すること。
- (2) 工業技術に関する情報の調査研究及び提供に関すること。
- (3) 国、地方公共団体、大学、企業等との連絡調整に関すること。

デザイン・工芸部

- (1) 工業製品及び工芸品に関するデザインの開発研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 工芸品の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 工業製品及び工芸品に関し、依頼に応じて行うデザイン設計に関すること。

食品工業部

- (1) 食品工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 微生物及び動植物細胞の食品工業的利用に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 食品に関し、依頼に応じて行う分析及び試験に関すること。

化学・環境部

- (1) 化学及び環境関連工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 繊維及び染色に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 化学に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

素材開発部

- (1) 窯業及び金属工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 新素材及び複合材料の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 窯業及び金属に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

機械技術部

- (1) 機械工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 機械に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び検査測定に関すること。

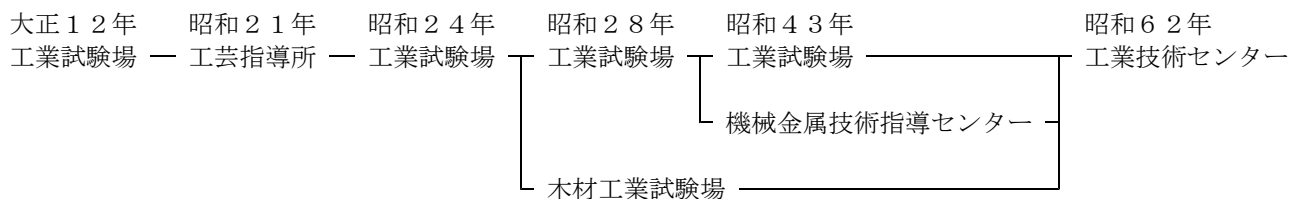
電 子 部

- (1) 電子技術に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 情報処理技術及び通信技術の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 電子機器に関し、依頼に応じて行う試験及び検査測定に関すること。

木材工業部

- (1) 木材工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 木材に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

1 - 3 沿 革



- | | |
|----------|---|
| 大正12年 4月 | 鹿児島市高麗町に工業試験場を設立し，染色，機織の2部を設置 |
| 昭和 4年 6月 | 鹿児島市原良町に移転
原料糸検査，醸造，玉糸製糸，撚糸，図案の各部を増設 |
| 昭和15年 4月 | 窯業部を増設 |
| 昭和17年 1月 | 木工，化学部を増設 |
| 昭和21年 4月 | 工業試験場に木工養成所を併設 |
| 昭和21年12月 | 工芸指導所と改称し，庶務，化学，窯業及び工芸振興の4部に改編 |
| 昭和23年 1月 | 竹工部を増設 |
| 昭和24年 4月 | 工業試験場と改称し，庶務，化学，及び工芸（木工，竹工，窯業）に改編 |
| 昭和26年 4月 | 発酵工業部を新設 |
| 昭和27年 4月 | 工芸部より木竹工部を分離・新設，揖宿郡指宿町（現 指宿市）に指宿分場を設置 |
| 昭和28年 4月 | 木竹工部と木工養成所を工業試験場より分離して木材工業試験場を設置 |
| 昭和34年11月 | 鹿児島市武町に移転 |
| 昭和38年 6月 | 指宿分場を廃止 |
| 昭和39年 4月 | 工芸部を窯業部に改め，化学部に機械金属班を設置 |
| 昭和43年 2月 | 工業試験場の新庁舎竣工 |
| 昭和43年 8月 | 機械金属班を分離して鹿児島市宇宿町に機械金属技術指導センターを設立 |
| 昭和48年 3月 | 鹿児島市東開町に木材工業試験場を移転 |
| 昭和62年12月 | 工業試験場，機械金属技術指導センター及び木材工業試験場を再編・統合し，現住所に工業技術センターを設立，庶務，企画情報（室），デザイン開発（室），食品工業，化学，窯業，機械金属，電子，木材工業の2室7部に改編 |
| 平成 8年 4月 | 組織改編により庶務，企画情報，デザイン・工芸，食品工業，化学，素材開発，機械技術，電子，木材工業の9部制発足 |
| 平成 9年 3月 | 知的所有権センター開所 |
| 平成 9年12月 | システム技術開発センター開所 |
| 平成10年 7月 | R & D支援センター開所 |
| 平成13年 4月 | 化学部を化学・環境部に改編 |

1-4 機 構

1-4-1 組織と職員配置

(平成21年4月1日現在)

所長(技)	副所長(技)	庶務部		総務課長(事)	原 口 幸 夫
神野 好孝	前野 一朗	部長(事)	瀧 清一	主幹兼総務係長(専)	淵之上 初 男
				専門員	久保園 隆
				主 事	木 村 智 裕
				運 転 技 師	原 良 一
		企画情報部		主任研究員	藤 田 純 一
		部長(技)	中村 俊一	〃	岩 本 竜 一
				〃	吉 村 幸 雄
				企画情報専門員(非)	田 中 博
		デザイン・工芸部		主任研究員	山 田 淳 人
		部長(技)	田中 耕治	〃	惠 原 要
		食品工業部		研究専門員	瀬戸口 眞 治
		部長(技)	中村 寿一	主任研究員	松 永 一 彦
				〃	安 藤 義 則
				技術補佐員	亀 澤 浩 幸
				〃	下 野 かおり
		化学・環境部		主任研究員	向 吉 郁 朗
		部長(技)	西元 研了	〃	安 藤 浩 毅
				〃	小 幡 透
				研 究 員	東 古 みなみ
				技術補佐員	川 郁 子
		素材開発部		研究専門員	袖 山 研 一
		部長(技)	新村 孝善	主任研究員	桑原田 聡 久
				〃	瀬 知 啓 彦
				〃	松 田 豪 枝
				技術補佐員	西 和 枝
				〃	澤 崎 ひとみ
		機械技術部		研究専門員	瀬戸口 正 和
		部長(技)	森田 春美	主任研究員	市 来 浩 一
				〃	南 晃 二
				〃	牟 雄 二
		電子部		主任研究員	久 保 敦
		部長(技)	山之内清竜	〃	尾 前 宏
				〃	上 菌 剛
		木材工業部		研究専門員	福 留 重 人
		部長(技)	山角 達也	主任研究員	日 高 富 男

1-4-2 職員現況表

(平成21年4月1日現在)

区 分	事務職	技術職	現業職	計	非常勤職員	備 考
庶 務 部	5	2	1	8		所長，副所長を含む
企 画 情 報 部		4		4	1	
デザイン・工芸部		3		3		
食 品 工 業 部		4	2	6		
化 学 ・ 環 境 部		5	1	6		
素 材 開 発 部		5	2	7		
機 械 技 術 部		5		5		
電 子 部		4		4		
木 材 工 業 部		3		3		
計	5	35	6	46	1	

1-4-3 人事異動

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

発令年月日	氏 名	新 任	旧 任	備 考
H21. 4. 1	瀧 清 一	庶務部長	労働委員会事務局総務課長補佐	転 入
	淵之上 初 男	庶務部主幹兼総務係長	税務課県税徴収対策官	
	東 みなみ	化学・環境部研究員	大島紬技術指導センター研究員	
	惠 原 要	デザイン・工芸部主任研究員	デザイン・工芸部主任研究員	再 任 用
	袖 山 研 一	素材開発部研究専門員	素材開発部主任研究員	所内異動
	西 和 枝	素材開発部技術補佐員	化学・環境部技術補佐員	
	澤 崎 ひとみ	素材開発部技術補佐員	デザイン・工芸部技術補佐員	
	白 石 重 行	ハートピアかごしま次長兼総務課長	庶務部長	
	H22. 3. 31	竹之内 正 和	保健医療福祉課国保指導室主事	庶務部主事
前 野 一 朗			副所長	
田 中 耕 治			デザイン・工芸部長	
	森 田 春 美		機械技術部長	

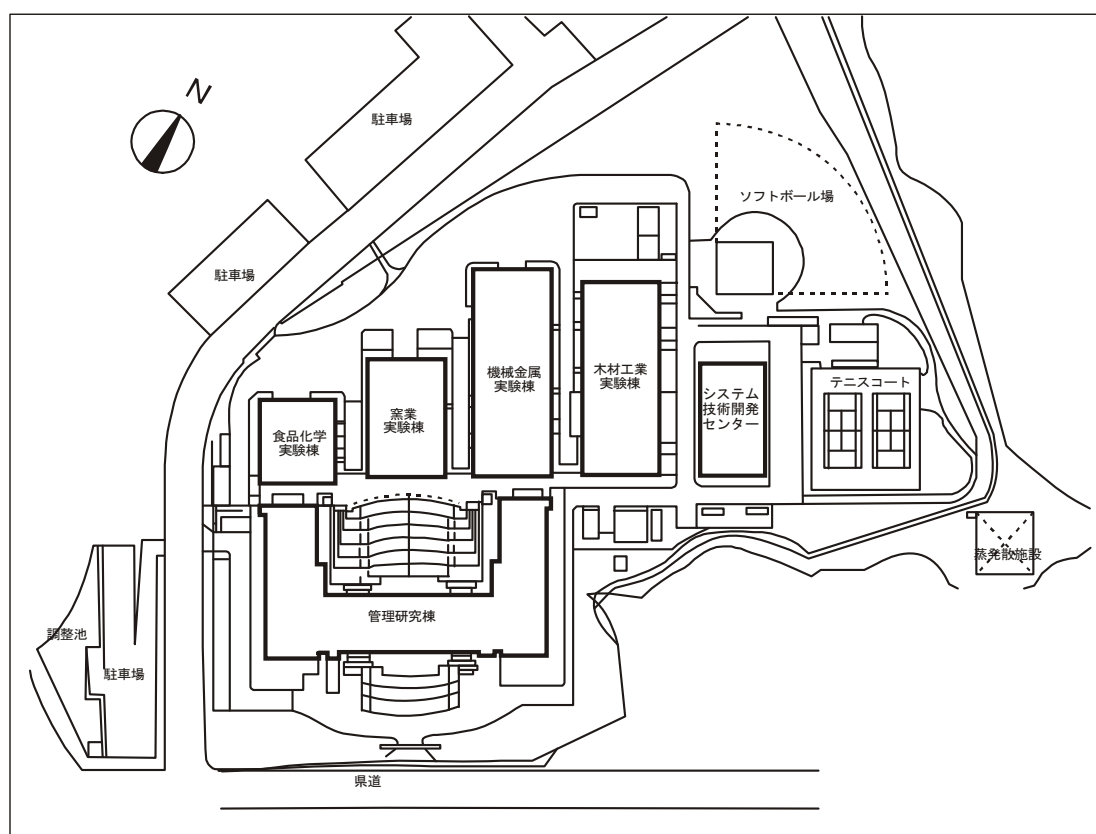
1-5 規 模

1-5-1 土地・建物

土地面積 60,889.02 m²
 建物延べ面積 16,664.99 m²

区 分	面 積 (単位m ²)	内 訳			
		階別	面積(単位m ²)	備 考	
管 理 研 究 棟 鉄筋コンクリート造 地下 1階 地上 3階	9,790.29	地階	911.49	機械室, 中央監視盤室 他	
		1階	2,884.14	庶務部, 企画情報部, 会議室 研究員室, ショールーム 知的所有権センター 他	
		2階	3,097.77	デザイン・工芸部, 食品工業部 化学・環境部, 素材開発部 電子部, 電子計算機室	
		3階	2,540.82	デザイン・工芸部, 化学・環境部 素材開発部, 機械技術部 木材工業部, R&D支援センター	
		棟屋	356.07	機械室	
実 験 棟	食品・化学実験棟	656.10	1階	656.10	食品工業部, 化学・環境部
鉄 骨 造 平 屋 建	窯業実験棟	951.35	1階	951.35	デザイン・工芸部, 素材開発部
	機械金属実験棟	1,640.25	1階	1,640.25	素材開発部, 機械技術部
	木材工業実験棟	1,541.84	1階	1,541.84	デザイン・工芸部, 木材工業部
システム技術開発センター 木造(一部鉄筋コンクリート造) 平屋建	1,058.51	1階	1,058.51	産学官共同研究室 実験シミュレーション室 制御測定室, 試作研究室	
そ の 他 付 属 棟	1,026.65			1,026.65	浄化槽機械室, 車庫, 公舎 他

1-5-2 配 置 図



1-6 決算

1-6-1 歳入

(単位：円)

款	項	目	収 入 額	備 考
使用料及び手数料	使 用 料	商 工 使 用 料	4,156,700	
	手 数 料	商 工 手 数 料	4,489,190	
国庫支出金	委 託 金	商 工 費 委 託 金	0	
財 産 収 入	財 産 売 払 収 入	物 品 売 払 収 入	0	
		生 産 物 売 払 収 入	947,980	
諸 収 入	県 預 金 利 子	県 預 金 利 子	1	
	受 託 事 業 収 入	商 工 受 託 事 業 収 入	3,042,000	
	雑 入	雑 入	25,121,211	
合 計			37,757,082	

1-6-2 歳出

(単位：円)

款	項	目	支 出 額	備 考
総 務 費	総 務 管 理 費	人 事 管 理 費	57,574	人 事 課
労 働 費	労 政 費	就 職 促 進 費	2,786,675	産 業 立 地 課
農 林 水 産 業 費	林 業 費	林 業 振 興 指 導 費	66,800	林 業 振 興 課
		林 業 構 造 改 善 費	0	林 業 振 興 課
商 工 費	商 業 費	商 業 総 務 費	47,608	商 工 政 策 課
		工 業 振 興 費	93,740	産 業 立 地 課
	工 鉱 業 費	中 小 企 業 振 興 費	191,350	産 業 立 地 課
		工 業 試 験 場 費	242,972,319	産 業 立 地 課
合 計			246,216,066	(人件費を含まず)

1-6-3 補助事業等

(単位：千円)

区分	補助事業等の名称	事業名	事業費	補助率	補助額	交付決定日	備考
受託	重点地域研究開発推進プログラム（地域ニーズ即応型）委託研究（(独)科学技術振興機構）	公募提案型受託研究事業「離床予測システムの実用化研究」	1,870	1/1	1,870	21. 4. 1	
"	重点地域研究開発推進プログラム（地域ニーズ即応型）委託研究（(独)科学技術振興機構）	公募提案型受託研究事業「焼成発泡軽石を用いた大判緑化基盤の開発」	2,544	1/1	2,544	21. 4. 1	
"	重点地域研究開発推進プログラム（地域ニーズ即応型）委託研究（(独)科学技術振興機構）	公募提案型受託研究事業「衝撃吸収機能付与による圧造工具の革新的長寿命化」	3,744	1/1	3,744	21. 4. 1	
"	新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業委託事業（(財)日本木材総合情報センター）	地域資源の高度利用研究事業「国産材活用中国向け低コスト木造住宅部材の技術開発（木質系材料を用いた新工法の構造特性に関する研究）」	3,042	1/1	3,042	21. 4. 2	
"	重点地域研究開発推進プログラム（シーズ発掘試験）委託研究（(独)科学技術振興機構）	公募提案型受託研究事業「麴の糖化力を活用した新規菓子素材製造技術の開発」	2,000	1/1	2,000	21. 7. 8	
"	重点地域研究開発推進プログラム（シーズ発掘試験）委託研究（(独)科学技術振興機構）	公募提案型受託研究事業「高効率成形によるマグネシウム合金製マイクロピンの試作」	2,000	1/1	2,000	21. 7. 8	
"	公害防止等試験研究費「ディーゼル車の環境性能に与えるバイオマス燃料の影響実態把握とその評価に関する研究」（(独)交通安全環境研究所）	公募提案型受託研究事業（廃食用油BDFの性状評価等）	1,575	1/1	1,575	21.10. 9	
"	重点地域研究開発推進プログラム（地域ニーズ即応型）委託研究（(独)科学技術振興機構）	公募提案型受託研究事業「静電気放電発生箇所検出システムの実用化に関する研究開発」	4,500	1/1	4,500	21.10.13	
"	重点地域研究開発推進プログラム（地域ニーズ即応型）委託研究（(独)科学技術振興機構）	公募提案型受託研究事業「多段気流分級装置を用いた整粒シラスの連続製造とシラスコンクリート製品の開発」	2,475	1/1	2,475	21.10.13	
JKA補助	自転車等機械工業振興事業・公設工業試験研究所の設備拡充補助事業（(財)JKA）	機器整備事業（研究機器購入事業）	68,985	1/2	34,492	21. 4. 1	
	合	計	92,735		58,242		

1-6-4 検査・監査等

種 別	実施年月日	対 象 期 間	実 施 者	職 ・ 氏 名	備 考
事務監査	平成21年11月10日 ～平成21年11月11日	平成20年度分及び 平成21年4～9月分	監査委員 監査委員	西山芳久 成尾信春	

1-7 会議等への参加

(件数)

部 名 項 目	庶 務 部	企 画 情 報 部	デ ザ イ ン ・ 工 芸 部	食 品 工 業 部	化 学 ・ 環 境 部	素 材 開 発 部	機 械 技 術 部	電 子 部	木 材 工 業 部	合 計
試験研究機関連絡会議	3	5	1	7	1	4	1	4	4	30
学 会	-	-	-	4	6	5	7	2	3	27
研 究 会 ・ 講 習 会	22	12	9	23	13	17	12	17	9	134
そ の 他	87	16	11	25	9	11	3	15	16	193

※庶務部は所長，副所長を含む

1-8 設 備

平成21年度に設備した機器（重要物品）は、以下のとおりである。（14機種）

部 名	機 器 名	型 式	メ ー カ ー 名	備 考
デザイン・ 工芸部	工芸部品専用CAD/CAM システム	MY28FEZ77	エヌイーシーパーソナルシステ ム南九州(株)	国 補
食品工業部	ガスクロマトグラフ	7890/5975	アジレントテクノロジー(株)	国 補
化学・環境 部	イオンクロマトグラフ	ICS-1600/ICS-2100	日本ダイオネクス(株)	国 補
素材開発部	電子線プローブマイクロアナ ライザ	JXA-8230	日本電子(株)	JKA補
素材開発部	FE-SEM用冷却装置	JKD-P16A2SH	日本電子(株)	国 補
素材開発部	骨材のアルカリシリカ反応促 進装置	MIT-636	(株)マルイ	受 託
機械技術部	X線画像表示装置	NX-04S	(株)アールエフ	JKA補
機械技術部	ワイヤカット放電加工機	NA2400	三菱電機(株)	国 補
機械技術部	動解析システム	DIPP-Motion Pro	(株)ディテクト	受 託
電子部	マイコン開発支援装置	DXH-N4-TH30-H8SHC	ビットラン(株)	国 補
電子部	表面電位計	Model 370	トレック・ジャパン(株)	国 補
電子部	サーモグラフィ	sc620	フリーシステムジャパン(株)	国 補
電子部	デジタルオシロスコープ	WavePro735Zi	レクロイ(株)	受 託
木材工業部	木材乾燥機	SDM X 400SL	東北通商(株)	国 補

(注)

- 国 補 — 地域活性化・経済対策臨時交付金により購入したもの
 J K A 補 — JKA補助金（(財)JKAからの交付）により購入したもの
 受 託 — 文部科学省の補助金（(独)科学技術振興機構からの委託）により購入したもの

